

## 当期の為替影響①（換算影響及び取引影響）

- USDやEURに対する円安は、売上および営業利益に対してプラス
- 一方で、EUR/USDにおけるEUR安は営業利益に対してマイナス
- 現在の為替の動きは、売上にとって大きくプラスである一方、営業利益へのプラスは限定的

### 2021年3Q累計期間実績レート

USD/JPY : 108.50  
 EUR/JPY : 129.87  
 EUR/USD : 1.197

### 2022年Q3累計期間 実績レート

USD/JPY : 128.06  
 EUR/JPY : 136.01  
 EUR/USD : 1.062

### 為替感応度

**(期中平均為替レートと期末の為替レートが同等であった場合)**

#### <売上影響>

主な通貨ペア	影響額（年額）	
USD/JPY	2.6億円	(1円当たりの影響額。円安が有利)
EUR/JPY	1.8億円	(1円当たりの影響額。円安が有利)

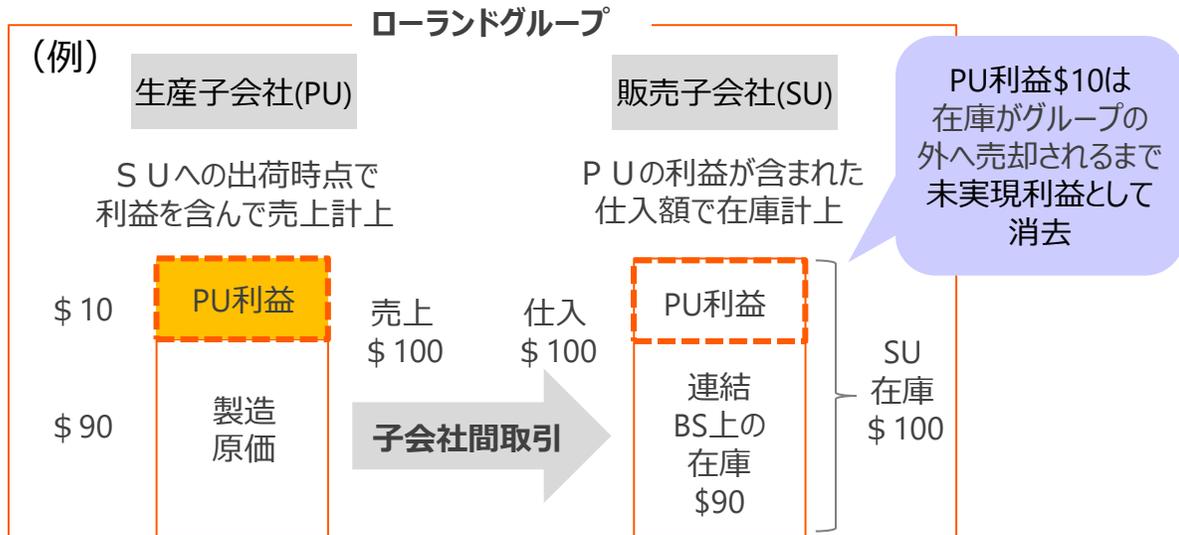
#### <営業利益影響>

主な通貨ペア	影響額（年額）	
USD/JPY	1億円	(1円当たりの影響額。円安が有利)
EUR/JPY	0.3億円	(1円当たりの影響額。円安が有利)
EUR/USD	1.3億円	(1セント当たりの影響額。EUR高が有利)

# 当期の為替影響② 未実現利益の消去時における為替影響

## ● 在庫に含まれる未実現利益の消去の仕組み

- 連結決算調整であり、**ビジネスに影響するものではない**



## ● 未実現利益の消去における為替影響の仕組み

- 以下の連結会計処理に用いる円換算レートの違いにより発生する

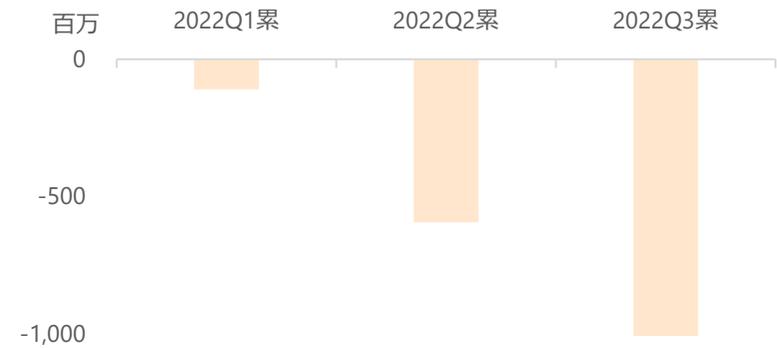
連結会計処理	BS/PL	円換算レート
子会社間取引利益 (未実現利益)	PL粗利	期中平均レート
未実現利益の消去 (在庫額調整)	PL粗利 (減少)	期末日レート
	BS在庫 (減少)	期末日レート

このレート差が未実現利益消去時の為替影響となる

## ● 今期の影響

- 急激な為替変動（円安進行）により、未実現利益の消去における為替影響マイナス額（前期比）が増加
- 当社において最も影響が大きい通貨ペアは**USD/JPY**

未実現利益為替影響額（前期比）



(参考) USD/JPYレートの推移

